

2023年3月31日

2022年度 校友会 活動実績報告 (ライフセービング)部

顧問名 (丸田、野瀬珠、中野)

活動方針 : 本部活動においては、一切の体罰・暴力を行いません。

「ライフセービングスピリッツを育むことを趣旨とし、救命教育・スポーツ競技・社会貢献活動を通じて、基礎的能力(心・技・知・体)を養う。命の大切さ・重さを実感し、その命をどう生かすか・いかに守るか・大切にするかを考え、自他ともに共生・共栄できるような人間を目指す。」 【設立趣意書より】

活動報告(上記の活動方針を下に取り組んだ1年間の総括)

コロナ禍の状況下、例年通りの活動を展開することは難しい状況であった。
日常の活動は、感染予防対策を入念に行いながら、校内外にて実施した。
夏季合宿活動は中止し、現地ライフセーバー体験は日帰り実施に切り替えた。
日本協会主催大会は積極的に参加した。
資格取得として、新入生4名がBLS(心肺蘇生法)講習を受講し全員合格した。
また、C級審判員資格講習を部員全員が受講し全員合格した。
「スポーツファーストレスポonder」プログラムを受講し修了証を授与された。
(東京都と国士舘大学・中央大学との共同事業プログラム)

【大会実績】

- ①全日本ユース選手権大会 2022(ビーチ) 6/4.5 横浜海の公園(神奈川県横浜市)
 - ・ビーチスプリント(男子) 2位 今田晃資(G3-5)
 - ・2kmビーチラン(男子) 3位 沢島広斗(G3-10)
 - ・ビーチリレー(男子) 2位 井上碧(G3-11) 増田沐(G3-5) 今田晃資(G3-5) レグミアシヨク(G3-2)
 - ・3×1kmビーチランリレー(男子) 2位 レグミアシヨク(G3-2) 増田沐(G3-5) 沢島広斗(G3-10)
- ②第48回全日本ライフセービング選手権大会 10/8.9 片瀬西浜海岸(神奈川県藤沢市)
 - ・2kmビーチラン(男子) 沢島 広斗(G3-10) 決勝21位
 - ・ビーチフラッグス(女子) 蔓木 美波(G2-3) 本戦進出
- ③全日本ユース選手権大会 2022(プール) 2/18.19 日環アリーナ栃木(栃木県宇都宮市)
 - ・ラインスロー(高校男子・混合) 小島 羽呼(G1-2) 新保 祐太(G1-15)

【地域貢献】

- ①立川第五小学校(7月) 体育(水泳)授業の指導サポート
- ②立川シティハーフマラソン(3月) 給水係として大会サポート

以上